

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	開発等指導事業			所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
			●			
事業対象	町民、事業者	目的	都市づくりの指針となる都市計画マスタープランのもと、魅力あふれる都市づくりを推進し、まちづくりに関する条例に則り良好な住環境の形成を図る。			
事業概要	「二宮町の開発事業における手続及び基準等に関する条例」に基づき、町民・事業者・行政の責務を明確にし、三者が協力や相互に理解をしながら、町の特性に応じた開発事業の誘導を図っていく。					

事業予算						
会計	01	款項目	07	04	01	大事業 0001 都市計画審議会等経費
		R1決算額（千円）	R 2 決算額		R 3 決算額	
		R 4 決算見込				
	直接事業費	0	0		0	
	概算人件費	1,418	1,463		1,583	
	トータルコスト	1,418	1,463		1,583	
	国庫/県支出金	0	0		0	
	その他	0	0		0	
R 3 概算人件費	正規職員	0.48 人		1,583 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			1,583 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 見込
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 適切な土地利用の推進・快適な住環境の整備誘導	4.19	2.61
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等 条例化により適正な指導等を行っているため、大きなトラブルは発生していない。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	都市計画審議会経費			所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●			
事業対象	町民、事業者	目的	都市づくりの指針となる都市計画マスタープランのもと、魅力あふれる都市づくりを推進し、まちづくりに関する条例に則り良好な住環境の形成を図る。			
事業概要	都市計画を決定する際に都市計画審議会へ諮問し、答申いただくこととするため、その審議会を運営することを目的とする。					

事業予算						
会計	01	款項目	07	04	01	大事業 0001 都市計画審議会等経費
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算見込				
	直接事業費	0	0	47	129	
	概算人件費	145	181	483	483	
	トータルコスト	145	181	530	612	
	国庫/県支出金	0	0	0		
	その他	0	0	0		
R3概算人件費	正規職員	0.18人		483千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			483千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 適切な土地利用の推進・快適な住環境の整備誘導	4.19	2.61
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□

成果・課題等 条例化により適正な指導等を行っているため、大きなトラブルは発生していない。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	地籍調査事業			所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
事業対象	町民	目的	国土調査法に基づく用地調査を行うもので、用地の境界、面積、所有者を確定し、土地の明確化を図ることで居住環境の向上を推進する。			
事業概要	平成27年度に実施した官民境界等先行調査の後続調査であり、対象面積1.6haの一筆地調査を実施する。					

事業予算						
会計	01	款項目	07	01	01	大事業 0003 地籍調査事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算見込				
	直接事業費	2,277	3,390	2,049	1,492	
	概算人件費	2,004	2,234	2,277	2,277	
	トータルコスト	4,281	5,624	4,326	3,769	
	国庫/県支出金	0	2,073	1,056		
	その他	0	0	0		
R3概算人件費	正規職員	0.55 人		2,277 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			2,277 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 空家を活用した定住促進のための住まいの確保	4.01	2.72
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等
 専門性が非常に高く、今後、事業を継続するため、専属的な人員配置が必要となる。
 全町を完了させるためには長期間となる。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	空家等対策推進事業			所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
		●	●			●
事業対象	町民、事業者	目的	適切に管理されていない空き家が防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしていることから、空家等に関する対策を実施する。			
事業概要	「空家等対策の推進に関する特別措置法」および、「二宮町空家等対策計画」に基づき、町内の空家対策を進める。					

事業予算							
会計	01	款項目	07	04	01	0006 空家等対策推進事業	
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額	R4決算見込
直接事業費		46		7,773		3,551	3,815
概算人件費		1,906		2,596		1,714	1,714
トータルコスト		1,952		10,369		5,265	5,529
国庫/県支出金		0		2,145		1,125	1,575
その他		0		0		0	
R3概算人件費	正規職員	0.44人		1,714千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			1,714千円			

成果指標		基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
①	空き家リフォーム・解体申請件数（件）	2	0	7	5	7
②	空き家バンク登録件数（件）	2	0	0	1	2

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	空家を活用した定住促進のための住まいの確保	4.01	2.72
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等
 今後も高齢化等に伴い空家の増加が懸念されるため、予防・啓発、利活用を一層促進する必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	土木管理経費			所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	
事業対象	町民	目的	町道及び河川等の土木管理全体の維持管理を行う。			
事業概要	道路台帳整備、事務機器借上等、土木管理全体に必要な事業を実施する。					

事業予算						
会計	01	款項目	07	01	01	大事業 0001 土木管理経費
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算見込				
	直接事業費	4,165	4,743	5,955	4,059	
	概算人件費	1,724	1,416	1,355	1,355	
	トータルコスト	5,889	6,159	7,310	5,414	
	国庫/県支出金	0	0	0		
	その他	0	0	0		
R3概算人件費	正規職員	0.27人		1,355千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			1,355千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	道路の整備と管理	4.31	2.67
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
必然性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
緊急性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
実効性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
時代即応性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
持続可能性	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

成果・課題等
道路台帳はシステム化され、窓口対応等の時間短縮が図れている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	道路新設改良事業			所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民	目的	町道の安全・安心な通行を確保するため、道路の新設や拡幅改良工事を行う。			
事業概要	道路の新設や拡幅するための調査、工事を実施する。					

事業予算						
会計	01	款項目	07	02	02	大事業 0001 道路新設改良事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算見込				
	直接事業費	0		14,451		8,624
	概算人件費	1,447		612		598
	トータルコスト	1,447		15,063		9,222
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R3概算人件費	正規職員	0.13人		598千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			598千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 道路の整備と管理	4.31	2.67
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等
 通学路である町道中里11号線を拡幅し歩道を設置したことにより、歩行者の安全が図れている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	道路維持管理経費			所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民	目的	町道の安全・安心な通行を確保するため、適切な維持管理を実施していく。			
事業概要	側溝清掃や街路樹等の維持管理委託、橋りょう長寿命化対策、通学路安全施設整備、道路修繕工事等を実施する。					

事業予算							
会計	01	款項目	07	02	01	001 0001 道路維持管理経費	
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額	R4決算見込
直接事業費		206,536		110,901		146,409	282,419
概算人件費		6,268		9,258		9,755	9,755
トータルコスト		212,804		120,159		156,164	292,174
国庫/県支出金		0		14,522		20,842	
その他		0		0		0	
R3概算人件費	正規職員			0.72人			3,064千円
	再任用職員			1人			1,551千円
	会計年度任用職員			3人			5,140千円
	その他			人			千円
	合計						9,755千円

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	道路の整備と管理	4.31	2.67
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ← 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等
 道路等のインフラについては、町民生活に直結していることから、日頃のパトロールや地区要望などによる修繕が必要な場所の優先度を位置づけ維持管理を行っている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	狭あい道路等拡幅整備事業			所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
事業対象	町民	目的	二宮町狭あい道路等拡幅整備要綱に基づき、建築基準法第42条2項の規定に基づく道路の拡幅整備を実施し、安全・安心な道路を整備する。			
事業概要	狭あい道路拡幅等に関する協議書が申請された土地の用地取得、物件補償を行い、後退用地の整備工事を実施する。					

事業予算						
会計	01	款項目	07	02	02	大事業 0002 狭あい道路等拡幅整備事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算見込				
	直接事業費	30,312	27,302	34,740	38,537	
	概算人件費	1,613	816	2,003	2,003	
	トータルコスト	31,925	28,118	36,743	40,540	
	国庫/県支出金	0	5,000	10,979		
	その他	0	0	0		
R3概算人件費	正規職員	0.42人		2,003千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			2,003千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 道路の整備と管理	4.31	2.67
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ← 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等
 建築に伴い道路後退が発生することが主な要因となることから、毎年、一定の件数とはならない。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	河川維持管理経費			所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民	目的	二宮町が管理する河川の維持管理を実施し、河川の適正管理を図る。			
事業概要	町管理河川である梅沢川や緑が丘地内の打越川の草刈り、清掃等を実施する。					

事業予算						
会計	01	款項目	07	03	01	大事業 0001 河川維持管理経費
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
		R4決算見込				
	直接事業費	1,444	1,650	1,671	1,647	
	概算人件費	186	304	218	218	
	トータルコスト	1,630	1,954	1,889	1,865	
	国庫/県支出金	0	0	0		
	その他	0	0	0		
R3概算人件費	正規職員	0.05 人		218 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			218 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 道路の整備と管理	4.31	2.67
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等 河川の氾濫に繋がらないよう、適正な管理に努めている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	コミュニティバス運行事業			所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
事業対象	町民	目的	路線バス・コミュニティバスの再編・見直しや新たな乗合交通の導入可能性を検討し、日常生活の移動手段が確保されている環境づくりを進める。			
事業概要	公共交通空白地域・不便地域の解消を目的に、町民が利用しやすいコミュニティバスを運行する。					

事業予算							
会計	01	款項目	07	04	01	0004 コミュニティバス運行事業	
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額	R4決算見込
直接事業費			9,890			12,739	15,449
概算人件費			644			981	981
トータルコスト			10,534			13,720	16,430
国庫/県支出金			0			0	
その他			0			0	
R3概算人件費		正規職員	0.33 人		981 千円		
		再任用職員	人		千円		
		会計年度任用職員	人		千円		
		その他	人		千円		
		合計			981 千円		

成果指標		基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4見込
①	コミュニティバスの乗車人員（人/日）	75	78	65	74	100
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	地域交通の確保	4.24	2.77
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
	全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等
 コミュニティバスの運行を維持するため、引き続き利用者を増やす取り組みが必要である。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	南北駅前広場及び南北公衆トイレ等維持管理事業			所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
事業対象	町民	目的	町の玄関として、南北駅前広場や南北エレベーター等の適切な維持管理を行い、安全で快適な通行等を確保する。			
事業概要	JR二宮駅南北に設置されたエレベーター、エスカレーターの定期点検や修繕による維持管理、また、駅南北の公衆トイレ及び南北駅前広場の清掃を実施する。					

事業予算						
会計	01	款項目	07	01	01	大事業 0002 南北駅前広場及び南北公衆トイレ等維持管理事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額
		R 4 決算見込				
	直接事業費	11,447	10,500	10,284	10,094	
	概算人件費	838	730	621	621	
	トータルコスト	12,285	11,230	10,905	10,715	
	国庫/県支出金	0	0	0		
	その他	0	0	0		
R 3 概算人件費	正規職員	0.15 人		621 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			621 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 見込
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 中心市街地等の整備・誘導	4.25	2.48
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ← 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	□	■	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等
 二宮駅利用者が安全かつ気持ちよく利用できるよう維持管理に努めている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	公園等維持管理運営経費 ※			所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●		●	●
事業対象	町民	目的	都市公園、児童遊園地等施設の維持管理を継続的に実施し、負担軽減に向けた公園の配置の見直しを行う。また、施設を整備し利用者の安全を図り適切な公園運営を行なう。			
事業概要	都市公園、児童遊園地等施設の維持管理を継続的に実施し、施設を整備し利用者の安全を図り適切な公園運営を行なう。					

事業予算						
会計	01	款項目	07	04	02	0001 公園等維持管理運営経費
		R1決算額（千円）	R 2 決算額		R 3 決算額	
		R 4 決算見込				
	直接事業費	62,608	63,715		74,260	
	概算人件費	22,861	26,567		27,470	
	トータルコスト	85,469	90,282		101,730	
	国庫/県支出金	0	0		0	
	その他	7,787	6,026		7,096	
R 3 概算人件費	正規職員	0.27 人		1,383 千円		/
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	27 人		26,087 千円		
	その他	0 人		0 千円		
	合計			27,470 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 見込
① 入込観光客数（人）【戦略】	550,860	550,860	498,907	560,600	566,000
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 公園・広場の充実と適切な管理運営	3.96	2.80
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等 公園利用者や地域住民が快適に利用できるよう、適正な維持管理に努めている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	公園等整備事業			所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●		●	●
事業対象	町民	目的	都市公園、児童遊園地等施設の維持管理を継続的に実施し、負担軽減に向けた公園の配置の見直しを行う。また、施設を整備し利用者の安全を図り適切な公園運営を行なう。			
事業概要	都市公園、児童遊園地等施設の維持管理を継続的に実施し、施設を整備し利用者の安全を図り適切な公園運営を行なう。					

事業予算						
会計	01	款項目	07	04	02	大事業 0002 公園等整備事業
		R1決算額（千円）	R 2 決算額		R 3 決算額	R 4 決算見込
直接事業費	概算人件費	1,502	3,240		34,143	10,750
	トータルコスト	933	936		1,246	1,246
	国庫/県支出金	2,435	4,176		35,389	11,996
その他	0	0		0	2,500	
R 3 概算人件費	正規職員	0.32 人		1,246 千円		/
	再任用職員	0 人		0 千円		
	会計年度任用職員	0 人		0 千円		
	その他	0 人		0 千円		
	合計			1,246 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 見込
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
該当施策	重要度	満足度	
1 公園・広場の充実と適切な管理運営	3.96	2.80	
2	#N/A	#N/A	
3	#N/A	#N/A	
全体平均	3.97	2.97	
<p>重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく</p> <p>重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い</p> <p>維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく</p> <p>改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要</p>			

分析					
分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□
成果・課題等	公園統廃合計画に基づき、公園施設の更新や改修を行い適正な運営管理に努めている。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	緑地等維持管理経費			所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
事業対象	町民	目的	町管理の緑地等の維持管理を実施し、民有地の樹木の保全に助成を行ない樹木の保全を図る。			
事業概要	町管理の緑地等の維持管理を実施し、民有地の樹木の保全に助成を行ない樹木の保全を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	07	04	03	0001 緑地等維持管理経費
		R1決算額（千円）	R 2 決算額		R 3 決算額	
		R 4 決算見込				
	直接事業費	4,121	4,120		4,478	
	概算人件費	1,193	1,191		980	
	トータルコスト	5,314	5,311		5,458	
	国庫/県支出金	13	13		13	
	その他	245	248		239	
	R 3 概算人件費	正規職員	0.17 人		980 千円	
		再任用職員	0 人		0 千円	
		会計年度任用職員	0 人		0 千円	
		その他	0 人		0 千円	
		合計			980 千円	

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 見込
① 自然保護奨励金制度の対象面積（㎡）	80,000	87,484	87,484	87,484	87,484
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 緑地の保全と緑化の促進	4.00	3.32
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	□	■	□	□
必然性	□	□	■	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等 町内緑地の保全や、高木の剪定、草刈りなどを行い適正な維持管理に努めている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性 「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	緑化推進事業			所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
事業対象	町民	目的	町内の花壇や公共施設に花苗等を植栽することにより、住民意識の高揚を図る。また、町の緑の将来を見通した総合的な指針となる緑の基本計画の改定を行い、緑化の保全及び緑化を計画的かつ効率的に推進することを目指す。			
事業概要	町内の花壇や公共施設に花苗等を植栽することにより、住民意識の高揚を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	07	04	03	大事業 0002 緑化推進事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額
		R 4 決算見込				
	直接事業費	1,285		805		952
	概算人件費	436		457		569
	トータルコスト	1,721		1,262		1,521
	国庫/県支出金	77		77		77
	その他	0		0		0
	R 3 概算人件費	正規職員	0.65 人		569 千円	
		再任用職員	0 人		0 千円	
		会計年度任用職員	0 人		0 千円	
		その他	0 人		0 千円	
		合計			569 千円	

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 見込
① 花いっぱい運動の実施回数（回）	2	2	1	2	2
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 緑地の保全と緑化の促進	4.00	3.32
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ← 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	□	■	□	□
必然性	□	□	■	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等 花いっぱい運動参加団体の負担軽減や、花壇の維持管理を検討する必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	要改善
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	要改善
	意見			

基礎評価シート（令和3年度 実績）

予算等事業名	耐震診断等事業			所管課	都市整備課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
				●	●	●
事業対象	町民	目的	木造建築物の耐震相談会や耐震診断費補助及び耐震改修工事費補助を実施することにより、町民の防災意識及び住環境の向上を図る。			
事業概要	木造建築物の無料相談会の開催、耐震診断費、耐震改修工事費及びブロック塀撤去工事費の補助を実施することにより、住環境及び町民の防災意識の向上を図る。					

事業予算						
会計	01	款項目	07	04	01	0003 耐震診断等事業
		R1決算額（千円）	R 2 決算額		R 3 決算額	R 4 決算見込
	直接事業費	1,600	395		7,474	5,990
	概算人件費	374	693		1,093	1,093
	トータルコスト	1,974	1,088		8,567	7,083
	国庫/県支出金	0	136		161	1,682
	その他	0	0		0	
R 3 概算人件費	正規職員	0.26 人		1,093 千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			1,093 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 見込
① 耐震診断・改修申請件数（件）	5	3	1	2	5
② ブロック塀撤去申請件数（件）	5	4	3	7	10

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 自助活動の推進	4.03	3.04
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	□	■	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□

成果・課題等 耐震改修促進計画の目標値に達成に向け、補助等の利用を促し、耐震化を図る必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性 「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			